



北海道の食を知ろう

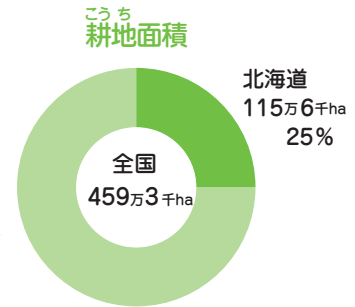
わたしたちの食卓をささえる日本最大の食料生産地域が北海道です。

広さ寒さを生かした北海道の農業

北海道の耕地面積は全国の1/4を占めています。農家1戸あたりの耕地面積は、都府県の約15倍。土地の広さを生かした大規模な農業が北海道の特徴です。

夏でもすずしい気候の北海道では、作物に害をあたえる虫があまり多く発生しません。北海道の農家では、農薬や化学肥料をなるべく使わない“クリーン農業”にも取り組み、安全で安心な農作物の生産に力を注いでいます。

また、食料を生産する水田や畑・牧場は、わたしたちのふるさとの美しい風景です。

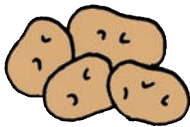


出典：農林水産統計
平成22年耕地面積調査

生産量日本No.1の主な農作物(H20.21)



小麦 59.3%



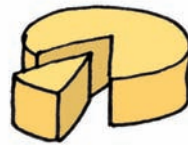
馬れいしょ 78.4%



大豆 21.1%



てん菜 (砂糖原料)
100%



牛乳・生乳 49.7%



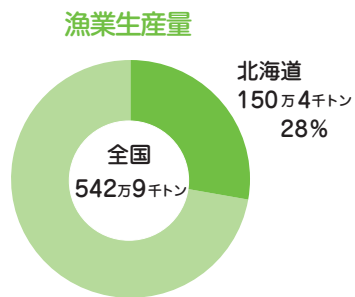
牛肉 15.5%

三つの海に囲まれた北海道の水産業

北海道は日本海、太平洋、オホーツク海と3つの海に囲まれ、水産資源に恵まれています。現在、国内の水産物の約1/4が北海道産です。

主な水産物は、ほたてやさけ、すけとうだら、ほっけ、さんま、こんぶなどです。その多くは、かまぼこやすり身、缶づめ、切り身などの加工品にして出荷されています。

水産物の生産額と加工品の出荷額を合わせると1兆円近くにもなります。水産業は北海道の大きな産業となっています。



出典：農林水産統計
平成21年
漁業養殖業生産統計

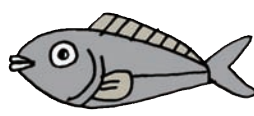
生産量日本No.1の主な水産物(H20)



さけ 70.2%



すけとうだら 88.4%



ほっけ 96.9%



ほたて 79.6%



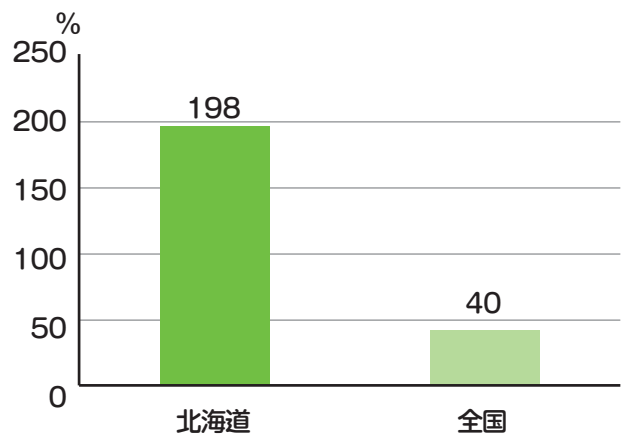
こんぶ 82.0%

食料自給率りつって知っていますか？

国内では

食料自給率りつとは、ある一定の地域ちいきに住む人が食べるもののうち、その地域ちいき内で生産された食べものの割合わりあいのことです。日本の食料自給率りつは40%。足りない分は外国からの輸入ゆにゅうに頼たよっています。北海道だけでみると、食料自給率りつは198%もあります。

北海道の食料自給率りつ(2007年、カロリーベース)



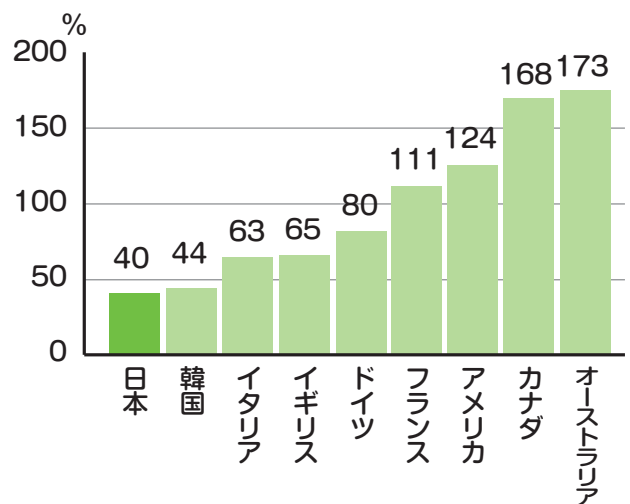
出典：農林水産省試算

世界では

主な外国の食料自給率りつはどうなっているのでしょうか。イギリス65%、ドイツ80%、フランス111%、アメリカ124%、オーストラリア173%。アメリカ、カナダ、オーストラリアなどは、自分の国で食料をまかない、あまった分は外国に売っています。

日本の自給率りつはとても低いので、外国から食べものの輸入ゆにゅうが止まると、わたしたちは十分な食事がとれなくなってしまう。

世界の食料自給率りつ(2007年、カロリーベース)



出典：農林水産省試算

北海道の農業水産業・食品産業

酪農らくのうのはなしや子牛らくのうにミルク！ 酪農教育ファーム「ぶんちゃんちちの里」

はま頓別町はまどんべつちょうに住む小川さんの牧場では、子どもたちに向けた酪農体験らくのうを行っています。お母さん牛だけがミルクを出すこと、オスの子牛はいずれお肉になることなどを青空教室で学び、いよいよ体験の時間。子牛ちちにミルクをあげたり、乳しぼりをしたり、体験した小学生は牛の体のあたたかさにふれたりしました。また「肉を食べることによって、失われている命があることを知りました」という感想もおしえてくれました。



乳しぼり体験ちち



ぶんちゃんこと小川文夫さん